

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果より

令和5年9月 敦賀市立角鹿中学校

4月18日、全国の中学校3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。8月に公表された全国の調査結果をもとに、本校の結果を分析しました。これまでの小中一貫教育の更なる推進とともに、全教科での指導方法の改善について、今後も進めてまいります。

ご家庭でも、お子様と学習への取組状況について振り返り、見直す参考にさせていただきますようお願いいたします。

【本校の強みや成果が表れているところ】*棒グラフの数字は「肯定的な回答の割合」(%)です。

◎・・・強みと考えられる項目 ☆・・・成果につながる授業での取り組み です。

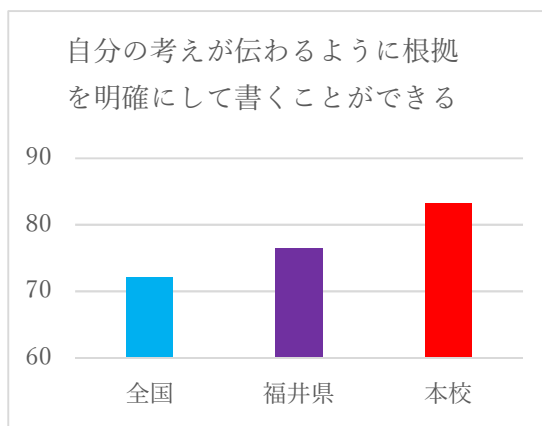
国語科

◎自分の考えが分かりやすく伝わるように、根拠を明確にして書くことができています。

◎場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈することができています。

☆授業開始時の継続的な漢字学習や、古典の基礎基本となる語句の定着を図る学習の成果が出ています。大問4の古典に関する問い(歴史的仮名遣いや古典と現代語の文章を対応させる問いなど)は、すべて高い正答率でした。

☆要点をまとめる活動において「条件を正しく読む」「指示を守る」ことに丁寧に取り組んできたことが、内容の解釈のみならず読み手に伝わる表現力の向上につながっているものと考えます。



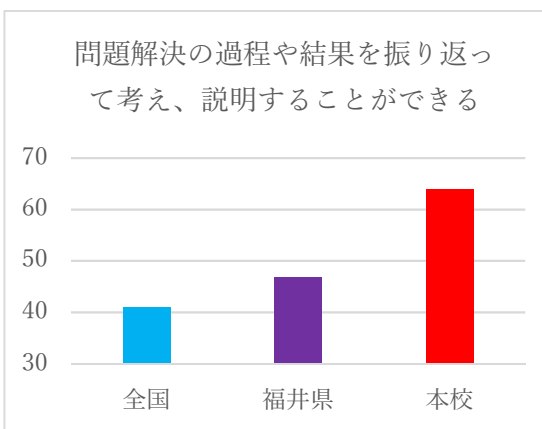
数学科

◎「計算」、「関数」、「データの活用」の技能が幅広く身についています。

◎数学的事柄が成り立つ理由やその判断の根拠を、数学的に説明することができています。

☆計算コンテストへの取組や、授業前のミニプリントによる基礎学習の積み重ねの成果が出ています。

☆友達と意見を交換する際、数学的な用語を用いて説明することを積み重ねてきたり、記述式の問題に自分なりの言葉を使って書いたりしてきたことが成果となって表れています。



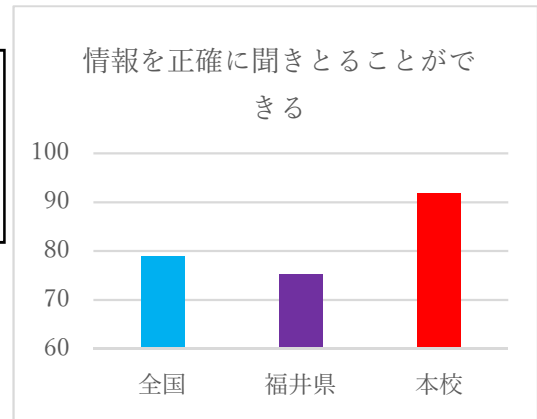
英語科

◎英語で話された内容を正確に聞き取ることができています。

◎英語で書かれた短文～中文程度の文章の情報や、文と文との関係を正確に読み取ることができています。

☆毎時間授業の始めにリスニングのトレーニングを取り入れている成果が出ています。

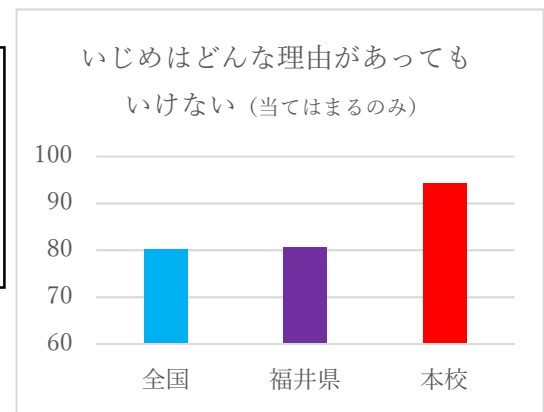
☆文法を理解し、内容を自分で読み取る活動の積み重ねが、正確な読み取りにつながっています。



生徒質問紙より

◎「人が困っているときは進んで助けている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」「先生や大人にいつでも相談できる」など、自分や仲間を大事にしている割合が高く、「自分にはよいところがある」「学校に行くのが楽しい」ことにつながっていると考えられます。

☆これまで取り組んできた「ポジティブ教育（ピア・サポート、レジリエンス）」の成果が表れています。



全体を通して

◎全国と比べて、どの教科も良好な結果が出ています。

◎文章で解答する問題や説明する問題に対して、途中であきらめずに最後まで書こうと努力する生徒の割合が高いです。

◎学習したことを普段の生活の中で活用できないかと考える生徒の割合が高いです。

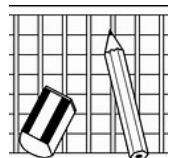
◎積極的に地域の行事に参加するなど、地域をよりよくしたいと考える生徒の割合が大変高いです。

☆友達との関わりも勉強への意欲に影響を与えます。安定した学級経営のもとで、日々の授業では内容がより理解できるように、ICT 機器や話し合い活動を取り入れて生徒たちをサポートしていきます。

【さらに力を伸ばすために】 ★各教科の課題のポイントとは？

●・・・課題と考えられる項目 ☆・・・改善に向けての授業での取り組み です。

国語科

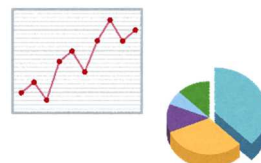


- 教科書の内容を正しく読み、理解する力
- 文の構造である主語、述語、修飾語、被修飾語の関係を正しく把握し、用いる力

☆本校の生徒は、映像や音からの情報収集(インプット)には進んで取り組みますが、自分の考えを表す(アウトプット)ことや、自分の言葉で言い換えて表現することは苦手です。学習内容を理解するだけでなく、お互いの考えを伝え合う活動を大切にしていきます。

数学科

- 図形の概念を正確に理解し、説明する力
- 資料やグラフから必要な情報を適切に読み取る力



☆空間における直線や平面の位置関係、ならびに、複数の集団データの分布傾向を比較して捉えることに課題が見られました。ICTを活用し、言葉とイメージが体験によってつながるような活動を充実させたり、必要なデータを収集して分析し、結果を基に考察し判断するという一連の活動を充実させたりしていきます。

英語科

- 英文の概要を捉え、そこから必要な情報を選び取る力
- ある話題に対して、自分の考えを持ち、時間内にまとまりのある文章を書く力



☆決められた時間内に英文の概要をつかんだり、自分の考えをまとめて書いたりする力が不十分です。時間の感覚を意識させ、長文を読む際に段落ごとに大まかな意味をとらえる活動を大切にしていきます。また、いろいろな話題に対して自分の考えを数分で構成し、主語・述語をおとさずに書くという表現の練習に取り組んでいきます。

より良い自分づくりに向けて

「家で自分で計画を立てて勉強している」「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」「毎日同じくらいの時間に起きている」と回答している生徒の割合が8割以上となっており、自分で生活リズムを整えることができています。一方で、1日あたりの勉強時間や、読書をしたり、新聞を読んだりする時間が全国と比べて短いです。

- 1日あたりの勉強時間(平日)が2時間以上…約20%(全国約35%)
- 学校や地域の図書館に週に数回行く…0%(全国約7%)

☆今後は自分の学習スタイルを確立するためにも、週末だけでなく平日も勉強時間をしっかり確保できるといいですね。中学生として、新聞を読んだり日々のニュースに目を向けたりすることも大切です。規則正しい生活リズムは今後も継続していきましょう。

